

岐阜高専 TOPICS

『岐阜高専 , 「 2 0 0 7 夏休みサイエンススクエア 」 に 2 ブース 出展 』

岐阜高専は、去る8月16、17日の2日間、国立科学博物館で開催された「2007夏休みサイエンススクエア」にブースを出展した。

独立行政法人国立高等専門学校機構から6高専が特別協力し、岐阜高専からは2ブースを出展した。

1つは、機械工学科奥川雅之准教授が「レスキューロボットって何だ?」と題し、災害現場で活躍が期待されるレスキューロボットの模型を子供たちに操作させ、困っている人を助ける大きな社会性をもったレスキューロボットについての紹介を行った。実演では、火災や土砂崩れのなか、レスキューロボットが倒れている被災者(人形)の救助に向かうという設定で、子供たちがレスキューロボットを操作し人形を救助するたびに、周りからは拍手と歓声が沸き起こった。

もう1つは、電気情報工学科羽淵仁恵准教授が「知っているようで知らない発電ものづくり工作教室」と題し、ペルチェ素子などの先端技術で使用されている素材を使った発電の仕組みや、電気の不思議を体感するコーナーを設けた。教員や補助学生のアドバイスによって、親子が協力して作品を完成させることができ、子供たちからは満面の笑みが見られた。このイベントを機に、科学をより身近に感じ、科学に興味・関心をもつ子供が増えることを願っている。



レスキューロボットの操作をする参加者